

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係		
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 昭和44 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
施策名	6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興						
関連個別計画					事業期間			
法令根拠	スポーツ基本法(第32条)、真岡市スポーツ推進委員に関する規則							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5保健体育費	1保健体育総務				
予算科目								
予算科目								
事業概要	<p>昭和44年4月1日真岡市体育指導委員に関する規則を制定、委員30名以内、任期は2年(R4.4.1-R6.3.31)となる。 平成23年度に名称が、体育指導委員からスポーツ推進委員に変更となる。 スポーツ推進委員は、スポーツ振興のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行うものとする。 スポーツ推進委員の各種研修会・講習会・大会等への参加派遣。スポーツの実技指導、スポーツ活動促進のために組織の育成を図ること、また様々なスポーツ行事または事業に関し協力することがスポーツ推進委員の主な職務である。 報酬(1回あたり8,500円) R4:1,955千円 R5:1,853千円 102千円</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
4年度実績 定例・月例会議(7回) ニューススポーツの普及・講習会の実施 芳賀地区スポーツレクリエーション祭(中止)、ニューススポーツ大会(中止)の企画・運営 真岡井頭マラソン大会(中止)競技補助 はが路ふれあいマラソン(中止)競技補助 各種スポーツの研修会(一部中止)・講習会・教室等の参加 新型コロナウイルス感染拡大防止により 5年度計画 前年度と同様		名称	単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)
		ア: 会議、研修、講習会等の回数	回	35	8	17	23	40
		イ: 報酬	千円	1,386	655	918	986	1,853
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
スポーツ推進委員		名称	単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)
		ア: スポーツ推進委員数	人	29	30	30	30	30
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
スポーツ推進委員が職務を行う上での資質の向上とスポーツに関する行事等への協力参加を高め、真岡市のスポーツ振興を図る。		名称	単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)
		ア: 会議、研修、講習会等の延べ参加者数	人	323	102	219	233	330
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,568	797	1,119	1,152	3,488
	事業費計(A)		千円	2,568	797	1,119	1,152	3,488

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 市のスポーツ振興に結び付く。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) スポーツ基本法に基づき、スポーツの指導を行っている。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 生涯スポーツの振興を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 市民の運動習慣の定着を目指し、スポーツ振興のため、スポーツ推進委員の研修会、講習会等の活動に積極的に参加している。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統廃合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携ができる(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携できない(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 報償費のみであり、これ以上の削減はできない。 活動のための必要最小限の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								